

キーワード	貧困・格差	子ども	学習支援	活動地域	全国・広域
事業名	学生ボランティアによる貧困の連鎖予防事業				
事業年度	平成24年度	助成金額	7,450千円		
団体名	特定非営利活動法人 キッズドア				
所在地	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1-5 日本橋小網町ハイツ304 TEL: 03-6231-1029				
団体HP	http://www.kidsdoor.net/				

事業の背景

- ◆学校での学力不足から塾へ通う子は増えていますが、生活困窮世帯では塾代が払えず、不登校や中卒、高校中退、就職ができず、将来、子どもも生活困窮世帯に陥ってしまうという「貧困の連鎖」が、近年問題視されています。
- ◆団体では、平成21年に学生ボランティア組織『ガクボラ』を立ち上げ、学習機会に恵まれない生徒の「学習の場」作りを進めてきました。
- ◆特に東日本大震災以降、職を失った家庭や仮設住宅等に暮らし、なかなか落ち着いて机に向かえない子どもも多数いる中で、学習支援のニーズが高まっています。また、被災地においては、そうした子どもから見えてくる生活困窮世帯の福祉課題を包括的に捉え、支援につなげる仕組みが必要とされています。

事業の概要

- ◆仙台市内では、被災した家庭の子どもや福島から避難してきた子どもを対象に学習支援を行いました。年間を通して延べ1,360人（約40人/回）の生徒への学習支援ができ、延べ514人のボランティア講師が集まりました。またこれらの生徒の家庭の生活再建に向けて、パーソナルサポートセンターと連携して支援をしました。
- ◆東京都内では、対象者を不登校の子どもから生活困窮世帯の子どもに拡大するとともに、社会福祉士会と連携し、家庭が抱える福祉課題への相談体制を整え、解決に向けたフォローをしながら、学習支援の定着率の向上を目指しました。
- ◆また、支援の要となる学生ボランティアを継続的に確保するために、「学生ボランティアセンター」を設立し、ボランティアの継続のためのモチベーションアップに関するニーズ調査を行いました。

活動報告書
(クリック!>

ここに注目!

- ☞ 年齢の近い学生ボランティアを活用することによって、学習支援だけではなく、生活支援や学習習慣の定着、キャリア形成の支援なども包括的に行っています。
- ☞ 「学生ボランティアセンター」を立ち上げ、支援の担い手となる学生ボランティアを継続して確保できる体制が整いました。